

第32回相模原市農業体験学習～みんなでお米を作ってみよう!～

○相模原市農業体験学習推進協議会は、児童が農作業をととして農業の大切さと収穫の楽しみを体験し、農業に対する理解を深めるため、農業体験学習事業を実施している。

○市内小学校5～6年生を対象に、田植え～稲刈りまでの一連の農作業体験に加え、市内の農家・農業用施設をめぐる「農業めぐり」、収穫したもち米を使ったもちつき、料理体験まで様々な活動を実施している。



【取組の内容】

○約10アールの水田における『田植え』『草取り・生き物観察』『稲刈り』、自分で作ったもち米を使った『もちつき』、県が認定した「ふるさとの生活技術指導士」を講師に迎えて行う『親子で料理体験』を実施し、延べ334名の児童に農業体験の場を提供した。

○7月には市内の農家や農業用施設をめぐり、市内農業について学ぶことができる『農業めぐり』を実施した。

○体験終了後には、参加児童が書いた作文集を発行するなど、学習的な要素も取り入れた。



【取組の成果】

○本協議会が実施したアンケート調査の結果から、「来年も農業体験学習に参加したい」が72%を超えており、児童の農業に対する理解、関心を高めることができている。

○児童と保護者が、「食」について話したり、一緒に考えたりするきっかけにもなっており、相模原市の食育の推進に大きく貢献している。

○平成27年度相模原市農業体験学習参加者感想(抜粋)

○児童

- ・泥の田んぼに入って植えるのが楽しかった
- ・学校とは違った経験ができた
- ・次は脱穀・風選・精米など(白米になるまでの行程)をやりたい
- ・稲の成長に驚いた

○保護者

- ・親子で自然と関われる機会を頂き感謝しています
- ・食の大切さ、食の成り立ちなど知る上でとても有益な体験でした
- ・稲刈りの時は親も参加できて良い体験ができました
- ・直接農家の方達の話の聞き田植えから一通りのことを体験でき良い経験になりました